

平成30年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証シート

全体の概要

大阪市立下新庄

小学校

児童数

60

平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	18.61	16.70	31.52	40.24	43.42	9.52	159.73	21.24	52.06
大阪市	16.50	19.30	32.69	39.78	49.39	9.37	149.73	21.98	52.80
全国	16.54	19.95	33.31	42.10	52.15	9.37	152.24	22.15	54.21
女子	17.30	17.37	36.85	38.31	37.88	9.60	155.00	13.85	55.31
大阪市	16.06	18.33	37.25	37.99	39.25	9.63	142.67	13.71	54.45
全国	16.15	18.96	37.62	40.32	41.88	9.60	145.94	13.77	55.90

結果の概要

体力テスト8種目のうち、男女共に握力と立ち幅とびで大阪市平均・全国平均を上回る結果となった。また、女子においては、50m走とソフトボール投げで大阪市平均・全国平均レベルに達している。しかし、20mシャトルランでは、全国平均を男子で4ポイント、女子で8ポイント、大阪市平均でも男子1.3ポイント、女子5.9ポイント下回る結果となり、持久力の向上は依然として本校の課題となっている。男子の上体起こしでも、全国平均を3ポイント、大阪市平均を2.6ポイント下回っている。その他の種目については、全国平均や大阪市平均とのポイント差はわずかである。体力合計点では、男子は全国平均を2ポイント下回ったが、昨年度の本校の体力合計点よりは2.9ポイント向上している。女子は大阪市平均を0.8ポイント上回り、全国平均との差も1ポイント以下となっている。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

今年度は校舎建て替え工事の影響で運動場が非常に狭かったため、なわとび集会やジャンピングボードの増設、休み時間の運動場や講堂での優先遊びなど、児童が積極的に体を動かすことのできる場や環境づくりに取り組んできた。また、体育の授業で、どの学年でもサーキットトレーニングを取り入れるなど、児童の体力向上のための取り組みを進めてきた。しかし、20mシャトルランでは、男女ともに全国平均・大阪市平均を下回る結果となり、昨年度からの本校の課題である持久力の向上は依然として課題として残っている。また、今年度も夢授業でサッカーの出前授業を実施し、トップレベルの選手と触れ合うことで運動への興味・関心を高めることにつながった。次年度も夢授業の実施や体育の授業でラダーなどの教具の活用により、児童の運動に対する興味・関心を高める工夫を継続していく。課題となっている持久力の向上については、なわとびや持久走など持久力を高める取り組みを各学年の実態により計画的、継続的に取り組んでいく。